



### ～目次～

- 病院短信
  - 日常の一コマ
  - いきいき看護・介護
  - 薬剤科だより
  - 初詣・獅子舞
  - スタッフ紹介
- 高野 正孝
  - 東 綾子
  - 松田 純子
  - 鯉淵 直子
  - 病棟デイルーム
  - 大滝 ニーベス

## 2月の予定

### ◇誕生日会&節分

1病棟	2月 4日 (金)
2病棟	2月 8日 (火)
3病棟	2月10日 (木)
各病棟デイルーム 14:00～	



# 1月といえど... 初詣・餅つき・獅子舞



春日部鶴亀神社の鳥居をくぐって



お賽銭を入れて...

気前よくお賽銭はお礼で!



神妙な面持ちで参拝!



神主さんにお祓いしてもらって



キター! 大吉

今年の運勢は...



餅つきってのはこう腰をいれて...

こう?



餅つき大会!

あ、それっ!



### 黒獅子

ぎゃー!

そして、三体の獅子が大暴れ!



### 金獅子

うわー! 何か来た



### 赤獅子

やるねえ...



私たちがへっちゃら獅子なんて怖くないもんっ!

### スタッフ紹介



3病棟 介護士  
おたき 大滝 ニーベス  
星座 おうし座  
血液型 B型  
趣味 読書

入職してから6カ月になりました。色々大変なこともありましたが、周りのスタッフの皆さんの助けがあり、楽しい毎日を過ごしています。これからも、明るく元気に患者さんに向き合っていきたいと思います。よろしくお祈りします。





# 病院短信

人間的出会い 「その患者さん、私大好きです」

副院長 高野 正孝

今年もコロナで始まりました。近い将来、おそらくそれは社会の主役の座を退き、明るく建設的な事柄に注力できる時が到来することでしょう。

さて今回のテーマは「相性」です。人間誰しも相性というものがあります。簡単に言えば好き嫌いですね。ご多分にもれず私にも、人一倍（いや二倍）強固な、相性の良し悪しがあります。医療者として仕事をしていると、患者さんとの相性があるのです。患者さんもよく承知していて、相性の合わない医者の外来には来ないものです。

当病院では、それぞれの患者さんにはケア担当者がつきまです。うまく人員配置されたもので、みんな上手に患者さんをケアしています。うちのスタッフは愛情深い人が多く、患者さんを身内のように大切にします。「うるさい！あつちへ行け」興奮した患者さんがスタッフを怒鳴ります。「怒鳴るのはいけないでしょう」下手するとパンチがとんでくる至近距離に対座して、スタッフがこんこんとさとしします。

「よくぞあんな風に相手出来るなあ」感心するばかりです。時には私のすこぶる苦手な患者さんがいます。相性が合わないのです。そういう時にスタッフが、「その患者さん、私大好きです」というのを聞いて驚嘆します。「うわー、すごい愛情だ。まいました」。人を愛せるというのは、その人の心の度量に関わっています。つまり愛せるだけの愛情があるということですね。

私の愛読書である『神との対話』1巻164ページには、次のようなことが書いてあります。「経験をいちばん直接的



力強く、純粋に実践できるのが人間関係という場だ。それどころか、人との関係なしにはその実践は不可能だ。このことをはっきりと理解すれば、すべての経験を、すべての人間的出会い、とりわけ個人的な人間関係をうれいと思うようになる。（一部略）

現実世界は、男女などの陽陰、大―小、熱―冷などの相対するものによって成り立つ世界です。この相対性の世界の中で、人間関係は、自分自身の愛情を成長させる最も濃厚で大切な経験の機会を与えてくれています。すべての人を愛せる人は、相当愛情深い人といえます。愛情薄い私など反省しきりの毎日です。この歳になっても、です。反省の時、本紙昨年2月号に書きました、心のブロック解除法を私は使っています。心のブロック解除の最も簡単な方法は、イメージで、部屋の天井に付いている電球を交換する方法です。変えたいと思う自分をイメージして今付いている電球を外し、それをゴミ箱に捨てます。そしてこうありたいと思う自分をイメージして新しい電球をポケットから取り出し天井に付け替えます。これだけです。変えたい自分に気付いたときに、すぐこれを行います。これはどんなことにも利用できます。嫌だと思ふ性格、嫌な思い出など、変えたいものなら何でもオーケーです。大事なことは、しっかりとビフォーアフターをイメージすることです。これが案外効くのですよ。試してみてください。



# 日常の一コマ

今月は2病棟の正義さん、86歳の一コマです。

正義さんは北海道札幌市のご出身。高校卒業後、三菱金属に勤務し、会社の柔道部に所属、本人から「柔道は5段の黒帯だよ」と教えてもらいました。その後27歳の時に上京、会社員となり28歳で結婚、二人の娘さんに恵まれました。そして36歳の時には個人タクシーを始められ、タクシードライバーとして過ごされて来ました。70歳を過ぎたころに小さな事故を起こし、奥様に強く懇願され72歳でタクシーの仕事は止められたそうです。ところが74歳の時に奥様の車を運転し、事故を起こしたのをきっかけにうつ状態になり、通院生活が始まりました。その頃は「死にたい」と口癖のように言っていたそうです。そして78歳になるころには自分の薬の管理も出来なくなり、日常生活でも自分の事が殆ど出来なくなり、近くの病院を受診して「アルツハイマー型認知症」と診断されたそうです。さらにその頃からは歩行もおぼつかなくなり、リハビリ病院や老健施設の入退所を繰り返しましたが、歩行困難は良くなり車いす生活となり、82歳の時に当院に入院されました。



当院に入院された初めの頃は、とても「頑固」で「こだわり（自己主張）」が強く、一方でとても「几帳面」な方だな、という印象でした。特にこだわりが強かったのが『髭剃り』で、朝シェイバーを渡すと、眉毛や髪の毛まで剃ってしまいそうになるので、慌てて「ひげは剃れていますからもう大丈夫ですよ」と言ってシェイバーを預かると、またしばらくしてシェイバーを貸してほしい、とスタッフに言ってきます。そんな毎日がしばらく続いたので、師長から奥様に相談をさせて頂き、『本人の好きなようにやらせて下さい』とのご返事をもらいましたので、それからは毎日、シェイバーの充電が無くなるまで念入りに髭を剃っています（時々、眉毛も髪の毛も、ですが…）。また、室内着の色やお茶を飲むときのコップの色にもこだわりがあり、いつもと違う色だと必ずダメ出しが来ます。

そんな正義さんですが、実に優しい一面もあります。最近、いつも同じテーブルに着く『テーブルメイト』の女性の患者さんが、突然、大声を出したり、怒りだしたりされることがあり、私たちスタッフがハラハラして見ていると、正義さんは笑顔で優しくなだめる対応をされていましたし、面会制限が一時解除された（残念ながら現在はまた面会は出来ませんが）先日、久しぶりに面会された奥様と会われたとき、『俺はこの病院に守られているけど、東京にいるママが心配だったよ』と奥様思いの優しい一面も見せていました。



入院されて5年目になりますが、最近は笑顔が多くみられるようになりましたね。特に談話室でアイスを食べている時はいつも「美味しいねえ」「有難いよ、感謝、感謝」と言って満面の笑みをみせてくれます。

今ではスタッフたちみんなも、正義さんのこだわりを理解できているので、心穏やかでいられるのかなと思ひながら、これからも正義さんの笑顔が沢山見られるよう、頑張っていくつもりです。

2病棟 介護福祉士 東 綾子

# いきいき看護・介護

3病棟 介護福祉士

松田 純子

二月は如月（きさらぎ）と言いますが、その由来は「ご存じですか？立春を過ぎる頃とはいえ、まだまだ寒さが厳しい時期のため、更に衣を重ね着する、という意味から「衣更着（きさらぎ）」になったのだそうです。



患者さんの中には、寒くてもそれを伝える事の出来る方ばかりではありません。また寒さの感じ方も人それぞれです。手足が冷たくなっていないか、背中を丸めていないか、身体が震えていないか。常に患者さんの状態を観察し、様子を見ながら重ね着をしたり、室内の温度や湿度を調節するなど、毎日快適に過ごして頂けるよう、日々工夫をしています。そして、皆さんと一緒に元気に春を迎えたいと思います。



# 薬剤科 だより

薬剤師 鯉渕 直子

風邪気味の時、体力を回復しようと栄養ドリンクを飲まれる方も多いかもかもしれません。この栄養ドリンクは、商品によって含まれる成分は異なりますが、ほとんどの商品で共通して多く含まれるのが、カフェインです。

そして、市販の風邪薬（総合感冒薬）や痛み止め（鎮痛薬）にも有効成分の一つとして、カフェインが含まれていることが多いのです。併用することでカフェインの摂り過ぎになってしまう、頭痛、胃痛、不眠、めまい等の不快な症状が出てしまうことがあります。

風邪薬等と併用する場合は、ノンカフェインタイプの栄養ドリンクを選ぶことをお勧めします。

二十四時間 戦えますか

